

# ものづくり人材育成やまがた便り

## グローバル化とやまがたの「ものづくり」



公益財団法人  
山形県産業技術振興機構  
理事長 岩槻 正志

新型コロナウイルスが蔓延している現在、長期の自粛要請で多くの企業が生死の境をさまよっている。2008年に起こったリーマンショックを大幅に凌ぐ経済不況と言っても過言でない。影響は、あらゆる業種に及んでおり、長期化も懸念されている。このような中、徐々に経済活動が動き出さざるを得ないと思うが、企業活動が動き出してもサプライチェーンの問題に直面している。1990年代から多くの企業はコスト削減のため中国や東南アジアを中心に子会社を設立、または現地企業と提携し生産のグローバル化を進めてきた。しかし、今回はコスト削減を求めたグローバル化がリスクを知らしめる結果になった。感染症のように国境を跨ぐ問題では、個々の企業の努力だけでは解決できないからだ。

今回の新型コロナウイルス禍は産業界にも大きな変革をもたらすと考える。企業形態や産業構造を含めた大変革のトリガーになる可能性が高い。自粛要請やロックダウンによる移動制限が発生する中、オンライン会議やテレワークでの仕事も増え、オフィスさえ不要になった会社も多々ある。

またサプライチェーンの崩壊には、感染症のみならず、安全保障の問題も加わってきている。このような中、リスク回避のため工場

のシフトや企業の国内生産回帰が強まるであろう。そして「ものづくり」に対する地方が果たす役割の重要性が高まると考えられる。

これから、日本が技術立国・「ものづくり」立国として生き残るためにも、付加価値を高め顧客満足度を高めた製品供給が長期的な成長には欠かすことができない。そのためにも、常に世界から最先端の情報が入ってくる仕組みの構築が必要である。経験的にも最先端の技術のあるところには、さらに最先端の情報や要求が入ってくる。そのための基礎研究や開発投資も重要である。

本県には、伝統に裏打ちされた個々に優れた技術を有する企業が多い。これらの優れた技術を横串につなぎ、付加価値の高い製品として連結させることで、新しい製品を生み出すことが大切と考える。今回の問題でこけら落としが遅れた新山形県総合文化芸術館が良い例と思うが、多くの地元企業の優れた技術が随所に散りばめられている。一つの県で、これだけの豊富な技術を有する県は少ないと感じる。

情報に対する敏感なアンテナと各企業を横断的に繋ぎ、トータルにコーディネートして製品に反映できる人材の育成が「ものづくり」にも必要と考える。

## 圧倒的な“おいしさ”を目指して

～株式会社セゾンファクトリー～

代表取締役社長 齋藤 雅一



株式会社セゾンファクトリー（高畠町大字元和田1566、社員220人）は、「素材にこだわる旬の工場」という意味である。平成元年の春、豊かな自然に恵まれた高畠町で小さなジャム工場を始め、販売先は地元のお土産屋が中心だった。「値段が高くても、健康に良く、おいしいものを作り届けたい。」という創業時の信念を受け継ぎ、地元の旬の素材にこだわり、人の手を活かし製造している。この商品は徐々に全国に広がっていき、世の中に広く受け入れられるところとなった。現在は、国内の地域一番の百貨店を中心に15店舗を展開している。ジャム、ドレッシング、飲料が柱で、新たな分野としてデザートなどの分野にも力を入れている。果物や野菜など国内中心に旬の高級素材を独自に調達し、自社工場ですべてを「人の手の力」によって製造し、商品化している。

### SAISON SPIRIT

会社の行動指針は、①感謝（人、モノ、コト全てに感謝しよう）②挨拶（自ら進んで挨拶しよう）③団結（仲間を大切にしよう）④爽やか（心、体、まわりをきれいにしよう）⑤前向き（いつでも明るく楽しもう）⑥挑戦（今日からやってみよう）⑦成長（今日より明日、学び続けよう）であり、社員としての自覚を促している。

### 圧倒的な“おいしさ”の実現

Made in 山形の高い品質と想像を超えた圧倒的な“おいしさ”の実現で、世界を魅了する食の“スーパーブランド”を目指している。安全、安心で価値のある“おいしさ”を追求し、数量限定の商品を提供する。例えば、製造にはあえて小さな鍋を使う。職人一人ひとりが目の届く作業環境の中、手作りで素材の味を引き出すことに注力し、“おいしさ”にこだわる。

### 圧倒的な販売力

“スーパーブランド”の構築には、商品力と販売員も大きなポイントである。消費者は、スーパーブランドの品質に、販売員のすばらしいたたずまいや物腰、販売力を求めている。

また、成長の秘密は、差別化された価値ある商品を、消費者の信頼の厚い地域一番の百貨店などで売るといった販売戦略である。しかも、セゾンファクトリーの商品は他社でまねができてにくいことから、自社で価格設定ができるというメリットがある。

### ブランドづくりはひとづくり

スーパーブランドを目指す上で最も重要なのは、働く社員一人ひとりの行動や言動であり、品質を支えるのもまた人であるという信念を持つ。商品だけでなく、ここに働く社員全員がお客様の為に手間暇を惜しまず、日々努力や工夫を重ねる姿勢がブランドをつくり、感動や共感を与える。また、「チームワークこそ最大の力」だと考える。常に明るく楽しく爽やかに、何事にも前向きに取り組む社風づくりを行い、部署を超えて連携を図る事も多く、社内イベントも出来る限り全員参加で楽しくコミュニケーションがとれるよう工夫している。社内外での仕事の中で、大切なのは人との信頼関係であり、人として成長する事がブランディングにつながる。

### 2020年度採用状況

採用人数 14名（大学卒9名、高校卒5名）

## = 若手社員のご紹介 =

お客様のお役に立てる営業を目指して！

長井市出身入社3年 色摩 郁人さん

### Q 入社のも動機は

大学進学に伴い、地元を離れて山形の魅力に気づきました。山形の魅力、素晴らしさを多くの方に伝えたいと当社に入社しました。

### Q 担当業務の内容と感じていることは

取引先への商品提案や催事運営、企画提案などです。取引先との商談を通じて、関係性づくりの大切さ、一緒に売り場を作り、売上を創造する楽しさを感じます。

### Q 現在の仕事はとうですか

「営業」という会社の収益に大きく関わる、大変やりがいのある仕事をしております。苦悩や葛藤はありますが、やり切った時の達成感言葉では表しきれないです。

### Q これからの目標は

入社して3年、いろいろな仕事の基礎を学びました。今年はそれを活かして、自身がレベルアップして会社へ貢献したいです。

### Q 趣味はありますか

読書が好きです。それから休日は天気が良いとよく釣りに出かけます。大自然の中で時間を過ごし息抜きします。魚を釣り上げた時の感動は何物にも代えられないです。

### Q 最後に、大切にしている心構えは

「これでいいなんてことは何一つない。」この言葉を常に大切にしています。先輩社員からの言葉で、何に関しても常に全力で挑み、妥協しない、今の私の仕事のスタンスを形成してくれた言葉です。



## ～ 色摩さんの一日のスケジュール ～

8:15	出社	自宅は長井市で50分ほどで到着。
↓		
8:30	始業 清掃	毎日社員総出で社内清掃を行う。
↓		
8:45	業務開始	メールチェックや業務整理、行動予定の確認。 前日残った業務や、優先度の高い業務から取り掛かる。
↓		
10:00	社内ミーティング	部内ミーティングや、企画に関するミーティングを行う。 週に2,3回ほどミーティングが行われる。
↓		
11:00	デスクワーク	見積書の作成や、企画の案内をメール、FAXにて案内する。
↓		
12:00	昼食	社内食堂にて昼食。
↓		
13:00	デスクワーク	毎日取引先3社～10社へ電話。エリアは大阪、京都、兵庫など 関西地区を中心に約10社を担当。月に一度出張で顧客を訪問。 出張の際は、1週間ほど、催事などの長期にわたる際は、 2週間～1か月ほど出張へ行くことも。
↓		
↓		
17:30	退社	
↓		
18:00	帰宅	実家にて家族との夕飯を楽しむ。 次の日に備えて、夜更かしはしません。



令和2年度 公益財団法人山形県産業技術振興機構 研修事業概要(6/25現在)

※新型コロナウイルス感染症の影響により、予定が大きく変更になる可能性があります。

	コース名	研修概要	研修時期	日数	定員	受講料	
製造業技術者研修	1 品質管理【募集終了】	品質管理の考え方と実践を具体的な事例をとおして学び、品質管理体制の構築の手法を習得する。	7/7 7/14 7/21 7/28	4日	32	24,000	
	2 精密測定技術	精密測定の講義、ならびにマイクロメータの使い方・表面粗さなどの実習を行うことにより、精密測定技術の基礎を習得する。	12/8 12/9 12/10	2日	15	22,000	
	3 製品設計・製造に役立つ金属材料学	工業製品の設計・製造に不可欠な材料について、鉄系材料を中心として基礎的な知識を習得する。また、強度試験、硬さ試験、組織観察等を通じて金属材料の評価方法を学ぶとともに、材料の特性と組織の関係等についても理解を深める。	9/17 9/18	2日	12	23,000	
	4 産業用ロボット特別教育研修	産業用ロボットの操作方法や、操作で必要となる知識について、習得する。労働安全衛生法により、現場導入に必要となる、教示等の業務に従事する者に義務付けられている研修である。	2/9 2/10	2日	12	23,000	
	5 異物解析技術入門	顕微赤外分光分析装置および超高分解能走査型電子顕微鏡を中心とした分析機器の原理や機能について、実際の装置の操作実習を通して学習する。また、分析に係る試料作成法や取得したデータの解析法等、現場で活用できる知識を習得する。	11/24 11/25	2日	12	23,000	
	6 プラスチック材料の射出成形と物性評価	プラスチック射出成形の基礎とプラスチック材料の熱的特性及び機械的特性の基本的な試験方法を習得し、プラスチック材料を利用する上での基礎的知識を学ぶ。	10/15 10/16	2日	15	23,000	
	7 清酒製造技術	各県を代表する有力杜氏や技術者を招聘し、技術解説を行っていただくとともに、酒質の変遷や今後の市場動向等について学習する。	【中止】	6日	35	23,000	
	8 食品の安全管理技術	食品製造における安全管理項目として重要な、①微生物検査、②異物鑑別、③アレルギー物質の検査、について基本技術の習得を目標とする。	1/13 1/14	2日	15	23,000	
	9 信頼性技術と加速試験の基礎(置賜)	電子機製造業を中心に重要性が高まる「信頼性」について、その概念から、基本的な信頼性技法、品質トラブルを未然に防ぐための考え方、加速試験の種類とデータ解析方法、部品調達の留意点までを、置賜試験場の試験装置の紹介を交えながら学ぶ。	10/28 10/29	2日	15	23,000	
	10 金属材料・製品の機械特性評価と組織観察(庄内)	金属材料や製品の設計、製造において品質を左右する重要な指標となる強度、硬さ等の機械特性の評価方法を学ぶ。また、観察試料の作製と実際の観察を通して、金属組織と機械特性との関係について理解を深める。	10/20 10/21	2日	12	23,000	
人材育成産業	1 ものづくり産業マネジメント人材育成研修	ものづくり企業の経営者等を対象に、生産性向上と社員の定着を目指して、マネジメント力を強化する研修を実施する。	9/24 10/1 10/9 10/22 10/29	5日	15	20,000	
成長分野参入人材育成研修	1 自動車関連研修	自動車関連の新製品開発に向けた知識の習得を目指す。	11月	1日	15	2,500	
	2 生産管理研修【募集終了】	納期を見据えた製造工程の管理方法の習得を目指す。	7/16 7/17	2日	15	5,000	
	3 在庫管理研修	在庫管理の改善によるコスト低減の手法の習得を目指す。	1月	2日	20	5,000	
	4 生産改善研修(一般)(女性向け)	講義と現場実習を通して実践的な改善手法を学び自社の生産性向上を図る。	(一般)	10/8 10/14 10/22	3日	20	7,500
			(女性向け)	9/9 9/16 9/23	3日	20	7,500
	5 現場リーダー資質向上研修(一般)(女性向け)	県内企業において、部下の積極性・意欲を高められるよう現場リーダー層の指導力向上を目指した研修を実施し、企業の組織力の強化を図る。	(一般)	12月	2日	15	5,000
			(女性向け)	11月	2日	15	5,000
6 ものづくり人材初級研修	ものづくり産業の基本や産業人の心構えを学ぶことにより、社員の意識向上、離職防止を図る。	8/26 8/27 8/28	3日	15	7,500		
7 自動車部品ライブラリーの展示	自動車部品ライブラリーの展示及び部品貸し出しの実施【展示場所: 山形県高度技術研究開発センター 玄関展示ロビー】	通年	-	-	-		
デジタル推進人材育成	1 基礎コース	若手社員を対象として、デジタルツール導入を前提とした生産カイゼンや、要件仕様の定義に関する能力・知識を持つ技術者を育成する研修を実施。	9/7 9/8	2日	20	15,000	
	2 実践コース	生産現場リーダーを対象として、デジタルツール導入を前提とした全体構想設計、導入標準プロセス、デジタルシミュレーションなどについて学ぶ。	12月	2日	15	10,000	
ロボット育成研修	1 ハード設計コース	工業技術センターの協働ロボットを活用し、ロボットハンド設計技術や把持計画など専門的なスキルの習得を目指す。	11/17 11/18	2日	15	10,000	
	2 ソフト設計コース	工業技術センターの協働ロボットを活用し、ロボットの制御プログラムの基礎、ビジョンピッキングの実習など、高度なスキルの習得を目指す。	10/8 10/9	2日	15	10,000	

◆ お問い合わせ先 公益財団法人山形県産業技術振興機構技術部研修課

〒990-2473 山形市松栄2-2-1 山形県高度技術研究開発センター内

TEL : 023-647-3154 / FAX : 023-647-3139 / E-mail : info@ypoint.jp

◆ 募集案内および応募方法は、およそ1か月前に山形県産業技術振興機構ホームページ <http://www.ypoint.jp/> に掲載予定です。

◆ 研修内容及び研修時期については、講師の日程調整等により変更になる場合があります。